

## MRI検査業務内容の見直しをおこなって

足利赤十字病院 医療技術部  
中室 智之 早乙女 加苗

【目的】当院は、平成 23 年 7 月に全面移転いたしました。それに伴い MRI 装置が 1.0T1 台から 1.5T、3.0T2 台に増設されました。また、私の業務も血管造影部門から MRI 部門へと移動となりました。“移転と移動”が重なり業務内容を見直す良い機会を考え、いろいろな事にチャレンジすることとしました。

今回は、一般的に仕事を上手に進める方法の一つであるとされる“Plan-Do-See サイクル”を利用して業務内容を見直してみることにしました。“Plan-Do-See サイクル”を利用し業務内容を見直した結果について報告いたします。

【使用装置】シーメンス社製:新MRI MAGNETOM Verio 3T,MAGNETOM Avant 1.5T  
旧 MRI MAGNETOM Harmony 1T

【対象・方法】平成 22 年 10 月から平成 24 年 5 月の期間内におこなわれた MRI 検査件数を、頭部・乳腺・心臓・腹部・骨盤・全脊椎の部位ごとに件数を調べ、それぞれについて検査数の増減の比較をおこないました。

また、“Plan-Do-See サイクル”の手法から

- (1) Plan(計画)  
→検査数の増加、とくに新しい撮像方法の件数を伸ばしたい。
- (2) Do(実行)  
→関係者と連絡をとりあい、情報を交換し協力体制を整える。
- (3) See(検討)  
→計画とおりに実行されたか確認をおこなう。

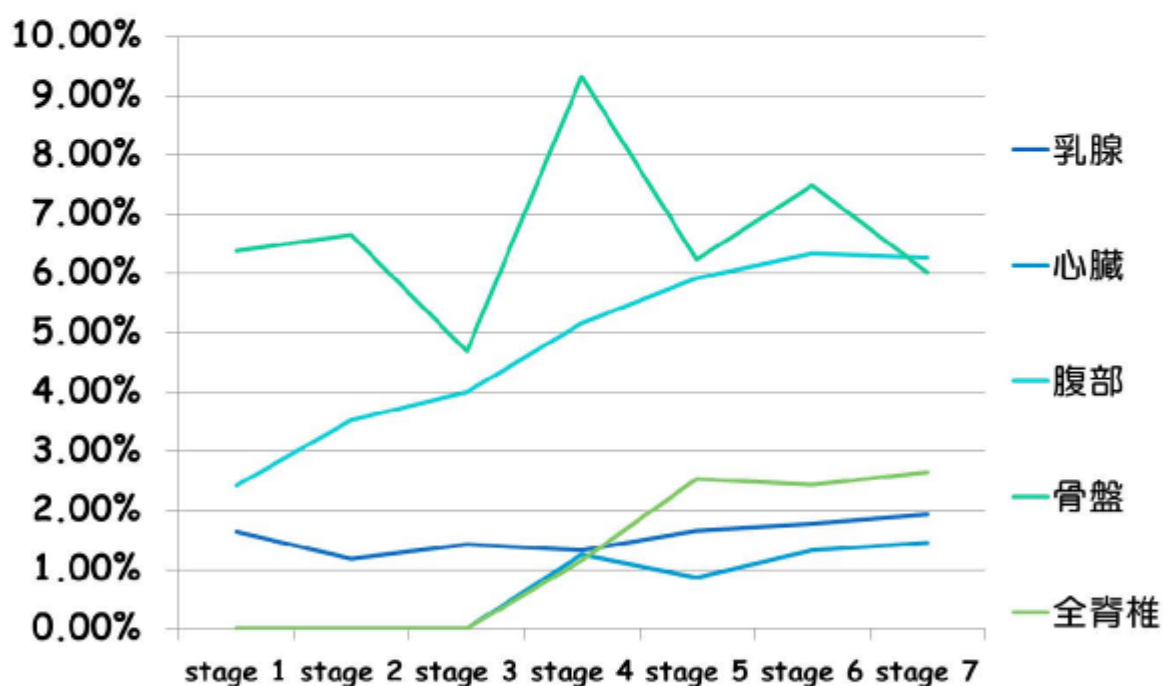
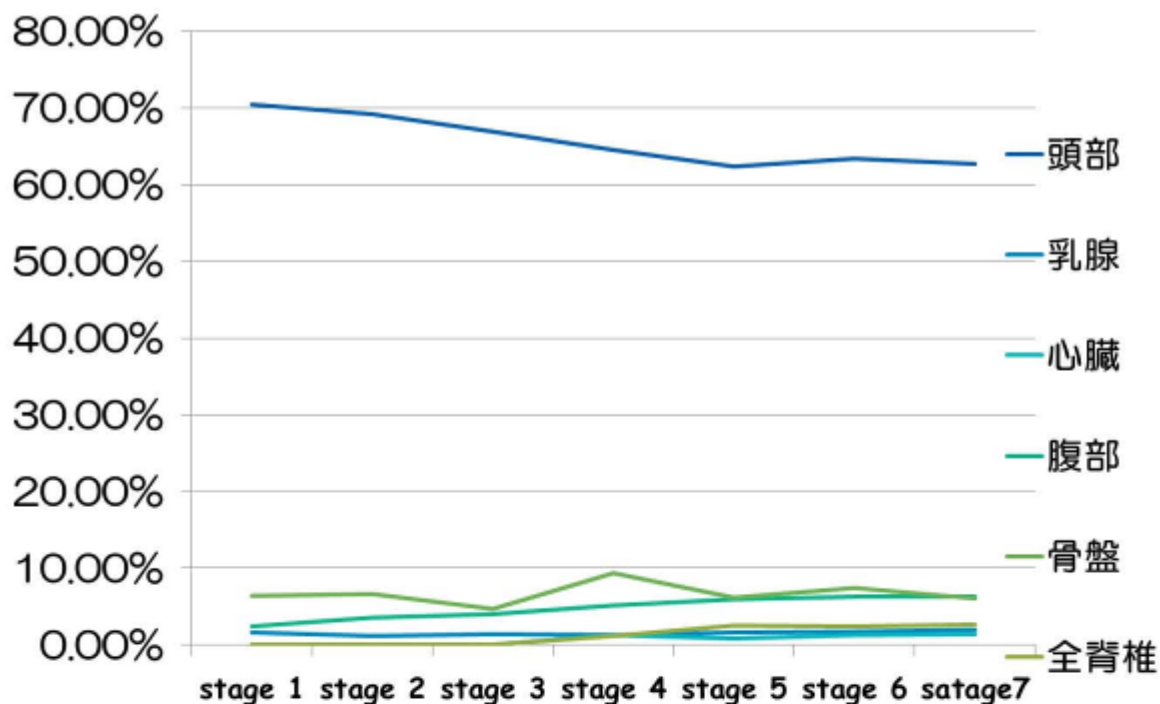
をおこないました。

【結果・考察】各 Stage ごとの MRI 総件数は次のようになりました。

	H22/10 ～H22/12	H23/1 ～H23/3	H23/4 ～H23/6	H23/7 ～H23/9	H23/10 ～H23/12	H24/1 ～H24/3
件数	1035	1021	979	1200	1266	1356

各 Stage ごとの部位別の割合は次のようになりました。

	H22/10 ～H22/12	H23/1 ～H23/3	H23/4 ～H23/6	H23/7 ～H23/9	H23/10 ～H23/12	H24/1 ～H24/3
頭部	70.43%	69.15%	66.90%	64.5%	62.40%	63.35%
乳腺	1.64%	1.18%	1.43%	1.33%	1.66%	1.77%
心臓	0%	0%	0%	1.25%	0.87%	1.33%
腹部	2.41%	3.52%	4%	5.16%	5.92%	6.34%
骨盤	6.38%	6.66%	4.69	9.33%	6.24%	7.49%
全脊椎	0%	0%	0%	1.16%	2.53%	2.43%
合計	80.86%	80.51%	77.02%	82.73%	79.62%	82.71%



【まとめ】装置更新による画質向上と新しい撮像方法が、認知され徐々にではありますが、検査件数の増加がみられました。

各 Stage ごとの頭部・乳腺・心臓・腹部・骨盤・全脊椎構成比率は

→頭部は、検査全体にしめる割合が減少している。

→乳腺・心臓・腹部・骨盤・全脊椎に関しては検査全体にしめる割合は増加傾向にある（特に腹部は増加傾向が著しく Stage1 と Stage6 のみを比較する約 2.5 倍の増加がみられた。